

## Part 3 看護につながる「国語」

### □漢字

〔漢字①—看護の教科書で出てくる漢字の読み書き〕 (本書p.122)

- 1 1じっせん, 2はいりょ, 3しょうじょう, 4いでんし, 5ほっさ, 6じゅうとく,  
7しょうびょう, 8こうちく, 9てきおう, 10はあく, 11けつぼう, 12けいちょう,  
13こういしょう, 14ひとみ, 15かんわ, 16たかく, 17か, 18おとろ, 19そしょう,  
20そでぐち, 21かくり, 22はれつ, 23ぎょうこ, 24しげき, 25あんせい,  
26そうかいかん, 27てっぺい, 28しっぺい, 29そうご, 30きじょ, 31ていねい,  
32ちくせき, 33はいきぶつ, 34あいさつ, 35おせん, 36かいほけん, 37しょうもう,  
38ふほう, 39りょうほう, 40てんとう, 41ほうかつ, 42ゆせん, 43さくげん,  
44びょうとう, 45ぶんけん, 46じゅしん, 47ぞうあく, 48ふく, 49も, 50きおう,  
51い, 52まんせいしっかん, 53ようご, 54すいじゃく, 55いつだつ,  
56しゅうしゅく, 57こんきょ, 58りょうよう, 59かんべつ, 60こうしゅうえいせい,  
61なんちせい, 62びょうしょう, 63めいりょう, 64えんかつ, 65は, 66くず,  
67うぶごえ, 68じゅんしゅ, 69ふさ, 70さしつか, 71ようぼう, 72ほんろう,  
73しょほうせん, 74けねん, 75さえぎ, 76はぐく
- 2 1観察, 2蓄, 3対処, 4携, 5怠, 6治療, 7特徴, 8立案, 9改善, 10供給, 11診断,  
12指導, 13整, 14増大, 15評価, 16解消, 17維持, 18覆, 19柵, 20招, 21挿入,  
22援助, 23究明, 24経過, 25率直, 26聴取, 27疑, 28自覚, 29表出, 30付着,  
31勸, 32設, 33分析, 34制限, 35睡眠, 36担, 37狭, 38合併症, 39認識, 40摂取,  
41補給, 42至, 43促進, 44掲, 45測定

〔漢字②—看護の教科書に出てくる専門用語の漢字の読み(100問)〕 (本書p.124)

- 1 1あっこん, 2いざい, 3こうくう, 4へん, 5ほっしん(はっしん), 6ほっせき  
(はっせき), 7じだ, 8がいそう, 9じょくそう, 10おそ, 11じめい, 12かすいたい,  
13ぎょうがい, 14かりょう, 15さこう, 16せんこつ, 17そくわん, 18ちんがい,  
19きざい, 20かくたん, 21そけい, 22ちんさ, 23じかく, 24りゅうぜん, 25しかん,  
26ごえん, 27しゅちょう, 28せんしゅ, 29ちゅ, 30はくせん, 31ふくくう,  
32いかんせん, 33えきか, 34いきち, 35きょうくう, 36けんこうこつ,  
37こつそしょう, 38ざこつ, 39しっしん, 40じんう, 41せきつい, 42ちくによう,  
43ちょうかん, 44ちょうかんまく, 45りょくないしょう, 46こうがいれつ, 47がく,  
48けんいん, 49にくげしゅ, 50けんたい, 51しつがいこつ, 52ざんさ, 53かんせん,  
54すいほう, 55せんし, 56そしゃく, 57かたい, 58かんとん, 59しり, 60そくせん,  
61きっこう, 62れいあんぼう, 63えそ, 64けいつい, 65じゅうもう, 66じょみやく,  
67かっけつ, 68かんちょう, 69けいれん, 70けっさつ, 71こうとうがい, 72せっし,  
73はくせん, 74はこう, 75じこう, 76こんすい, 77させい, 78さんじょく,  
79じんましん, 80ぜんそく, 81ぜんどう, 82ふんごう, 83こうしん, 84きしつ,  
85ついまひ, 86けんしょうえん, 87いげん, 88おかんせんりつ, 89おしん,

- 1 90しゅよう, 91きん, 92とうつう, 93かいよう, 94せいしき, 95しゃだん, 96だっきゅう, 97へんかん, 98かんげ, 99かんじょ, 100ふずいい

〔漢字③—看護の教科書に出てくる同音異義語, 同訓異字を書き分ける〕 (本書p.126)

- 1 1試行/志向/指向, 2行程/工程, 3浸食/侵食, 4徴候/兆候, 5沈静/鎮静, 6進入/侵入/浸入, 7意志/意思, 8過程/課程, 9観賞/鑑賞, 10既成/既製, 11保険/保健, 12現状/原状, 13好意/厚意, 14最後/最期, 15最小/最少, 16終了/修了, 17重傷/重症, 18収束/終息, 19終始/終止, 20水様/水溶, 21容量/用量, 22奏効/奏功, 23沈痛/鎮痛, 24開放/解放, 25付加/負荷, 26必死/必至, 27作成/作製, 28優位/有意/有為, 29紹介/照会, 30仮説/仮設, 31効率/高率, 32転帰/転機, 33解答/回答, 34自省/自制, 35自律/自立, 36著名/著明, 37連係/連携
- 2 1乾/渴, 2早/速, 3帰/返, 4努/務/勤, 5植/飢, 6謝/誤, 7望/臨, 8片寄/偏, 9離/放, 10暑/熱/厚, 11割/裂, 12課/科

□敬語

〔敬語の使い方：練習問題①〕 (本書p.129)

- 1 ①ご覧いただく, ②いただいた, ③いただきました, ④おっしゃった, ⑤いらっしゃる (おいでになる, お見えになる, お越しになる), ⑥申し上げておりました (申しておりました)
- 2 ①参る (うかがう), ②拝見する, ③存じ上げている (存じている), ④拝聴した (うかがった), ⑤参ります, ⑥おります (おる)
- 3 ①召し上がる/いただく, ②お聴きになる/拝聴する, ③ご覧になる/拝見する

〔敬語の使い方：練習問題②〕 (本書p.130)

- 1 ①うかがってもよろしいですか⇒“頂戴する”は“もらう”の謙讓語。名前は名刺とは違い, もらうものではない  
②お聞きになってください⇒“うかがう”は“聞く”の謙讓語。この場合, 謙讓語ではなく, 尊敬語の“お聞きになる”を用いる  
③父/おります⇒身内に対しては, 尊敬語ではなく, 謙讓語を用いる  
④存じ上げています (存じています)  
⑤ご覧になりましたか⇒“ご覧になられましたか”は, 尊敬語の“ご覧になる”に, さらに尊敬の助動詞“られる”が使われ, 二重敬語になっているため, 誤り  
⑥いらっしゃいました (おいでになりました, お見えになりました, お越しになりました) ⇒この場合, “来る”の謙讓語ではなく尊敬語を用いる

- 2 ①いらっしゃいますか⇒この場合，“いる”の尊敬語を用いる  
 ②おっしゃっていただけますか⇒この場合，“言う”の尊敬語を用いる  
 お電話が遠いようです⇒“聞き取りにくい”という直接的な表現は避けたほうがよい  
 ③a.鈴木⇒社外の人に対して社内の人のことを話す際は，役職や敬称はつけない  
 b.ただいま席を外しております⇒この場合，“席を外している”が定番のフレーズとなる  
 c.他の電話に出ております⇒この場合，“他の電話に出ている”が定番のフレーズとなる  
 ④代わりにご用件を承ります⇒このフレーズを用いれば，電話をかけてきた相手に対して，担当本人ではないことも伝えられる

### □間違った表現を避ける

#### 〔主語と述語の不一致〕

(本書p.134)

- 1 ①(修正例) ※「バイタルサイン」を主語とする場合  
 患者の状態を客観的に把握でき，異常を早期発見します  
 ⇒患者の状態の客観的な把握や異常の早期発見に役立ちます  
 ②(修正例) ※「有効性」を主語とする場合  
 有効性を期待しています⇒有効性が期待されています

#### 〔慣用句や熟語を正しく使う〕

(本書p.135)

- 1 ①B (意味：どこへ出ても圧倒されることがない，実力があり堂々としている様子)  
 ②A (意味：病気の原因に対してではなく，その時の症状の軽減を図るために行われる治療法，根本的に解決をせずに表面に表れた状況に対応して物事を処理すること)  
 ③B (意味：熱が高い状態で眠っている際に無意識の内に言葉を発する，周りのことがわからなくなるほど夢中になる)  
 ④A (意味：危険や困難から逃がられられないほど追いつめられている)  
 ⑤A (意味：冷たくあしらわれたりして全く相手にされず，頼るに頼れない)  
 ⑥A (意味：恥をかかせる，世間からの評価を失わせる)  
 2 ①f (意味：話を途中でさえぎる)  
 ②a (意味：不幸・不運なことが重なる)  
 ③d (意味：きわめて儉約した生活を送る)  
 ④g (意味：不愛想な，冷淡な)  
 ⑤e (意味：じわじわと遠まわしに責めたり痛めつけたりする)  
 ⑥b (意味：自分の腕前・技能を存分に発揮する)  
 3 ①A, ②B, ③A, ④A, ⑤B